

平成 29 年 8 月 14 日

各 位

株式会社北陸銀行

「第 8 回アドバイザー・ミーティング」の開催について

株式会社北陸銀行（頭取 庵栄伸）は、平成 29 年 8 月 9 日（水）に「第 8 回アドバイザー・ミーティング」を開催いたしました。概要につきましては、下記のとおりです。

今回のミーティングでは、平成 28 年度決算、中期経営計画の取組み状況について説明し、その後に各委員の方々から忌憚のないご意見を頂戴いたしましたので、今後の施策等に活かしてまいります。

記

1. 日 時 平成 29 年 8 月 9 日（水） 13：00～15：00

2. 場 所 北陸銀行本店

3. 出席者

＜アドバイザー・ミーティング メンバー＞

稲垣 晴彦	北陸コカ・コーラボトリング株式会社代表取締役社長
本田 百合子	公認会計士・税理士・行政書士
向 智里	金沢大学理事・副学長
八木 誠一郎	福井経済同友会特別幹事、フクビ化学工業株式会社代表取締役社長
山崎 康至	富山県副知事

(五十音順、敬称略)

＜当行出席者＞

麦野 英順	取締役会長
庵 栄伸	取締役頭取
吉田 剛	取締役専務執行役員
浅林 孝志	取締役常務執行役員
石田 弘明	取締役執行役員
赤井 圭一	常勤監査役
小林 正彦	執行役員総合企画部長

＜事務局＞

北陸銀行 総合企画部

4. 庵頭取挨拶要旨

アドバイザー・ミーティングは、外部の有識者の皆さまからご意見をいただき、経営に反映していく機会として設け、今回で8回目の開催となりました。

この一年間は、地域金融機関として地域とともに共生し、お客さまに寄り添った対応を行うための提案力向上や体制整備のほか、新しい金融技術への対応にも注力してまいりました。お客さまとの共通価値を創造していくためにも、委員の皆さまからのご助言を経営に活かしてまいりたいと考えていますので、忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。

5. 当行からの説明要旨

総合企画部長の小林より、以下の内容について説明をいたしました。

- ・中期経営計画「BEST for the Region」の重点施策の取組み状況
- ・その他の取組み状況
- ・主要計数の進捗状況

6. 委員からのご提言などについて

(1) 本年12月に予定しているビジネスコンテスト「ミライイノベーション北陸」の開催目的について教えてほしい。

【当行からの回答】

- ・創業140周年プロジェクトの一環として実施するもので、新しいテクノロジーなどを活用した新事業・ソリューションの発掘・事業化支援を行うことや、有望な技術やビジネスアイデアを持つ企業と地域企業とのマッチングの場を提供することを主な目的としています。スタートアップ企業への経営支援やサポートを通じて、地域経済の活性化にも繋げていきたいと考えています。

(2) 事業性評価の取組みについて、行員のレベルアップに向けたプロセスを確立し、今後も取引先企業との対話を重ね、支援を続けてほしい。

【当行からの回答】

- ・本年1月に営業企画部内にプロセスサポートグループを新設し、6月には人員増強を行うなど、組織体制を整備・強化しています。人員構成の変化により経験が浅い若年層の行員が増加する中で、営業店だけではお客さまのニーズにお応えしきれない部分もあると認識しています。本部・営業店が一体となり、お客さまをサポートする取組みを強化してまいります。
- ・また人員の配置転換にも積極的に取り組んでおり、営業店と本部の両方を経験することで、現場力と専門性を兼ね備えた人財育成にも努めています。

(3) M&Aについて、海外では譲渡側（売り手）企業が、自社の成長戦略としてM&Aを選択する取組みも見受けられる。後継者問題など企業の出口戦略としてのニーズだけではなく、企業の成長戦略としてのM&Aにも積極的に取組み、地域企業の成長に貢献してほしい。

【当行からの回答】

- ・ 経営者が成長戦略の一環として検討するM&Aニーズに応えるためには、譲受側（買い手）企業だけでなく、譲渡側（売り手）企業のニーズを把握する取組みの強化が必要と認識しています。
- ・ 当行では、支店長自身が講師となり、お客さまセミナーを実施しています。知識を深め、悩みに寄り添い、お客さまとの対話を通じてニーズをきめ細かに吸い上げることが目的です。
- ・ また当行の強みでもある広域店舗による情報網を活かし、引続きお客さまの様々なM&Aニーズに応えてまいります。

（４）中小企業の事業計画策定支援には従来以上に重点を置き、金融機関としての知見を活かし、目利き力を発揮してほしい。

【当行からの回答】

- ・ 本年３月に「金融仲介の取組み」として貸付条件の変更を行っている企業数と経営改善計画の進捗状況について公表しています。貸付条件の見直しを行う一方で、外部機関との連携を強化し、お取引先の事業計画策定支援に取り組んでいます。
- ・ 今後は、自力では計画の策定が困難な比較的小規模なお取引先についても、顧問税理士などとの連携を図りながら、サポートを進めてまいります。

（５）タブレット端末を導入しているが、紛失の際などの顧客情報漏えい対策はどのように行っているのか。

【当行からの回答】

- ・ システムセンターでデータを保有・処理し、各々の端末には情報が保存されない、シンクライアント方式を導入しています。
- ・ 端末の盗難・紛失の際には、リモートでセンターへの接続を遮断する仕組みを構築しているほか、USBメモリなど外部メディアへのデータコピーが出来ない仕様とするなどの対策を講じています。

（６）金融機関として地方創生に能動的に関与してほしい。産学官金連携についてはどのように考えているのか。

【当行からの回答】

- ・ 地域金融機関として地域ブランド・地元企業の技術力などを如何にして国内外に発信していけるのかを、引続き産学官との連携を図りながら取り組んでまいります。

（７）地方人口が減少する中で、ビジネスモデルをどのように構築するのか。またキャッシュレス化が進み、来店客の減少も考えられる。今後の店舗展開はどのように考えているのか。

【当行からの回答】

- ・ 非対面取引など時代の変化に対応する先進性を追求する一方、より一層お客

さまとの接点を重視した地域密着のビジネスモデルを構築する必要性を感じています。

- ・ 店舗展開につきましては、これまで周辺環境の変化に合わせてエリア化による機能別の店舗再配置を進めてまいりましたが、今後もお客さまニーズを踏まえつつ、戦略的に対応してまいります。

(8) 女性の活躍推進に向けて、どのような取組みを行っているのか。

【当行からの回答】

- ・ 育児休業制度の拡充や、再雇用制度の創設など、ワークライフバランスを尊重した働き方改革を進めており、女性が働きやすい職場づくりに取り組んでいます。また、女性行員の役席への登用も積極的に行っており、意欲ある女性行員が生き活きと活躍できる組織づくりに努めてまいります。

<本件に関する照会先> 総合企画部 総合企画グループ TEL 076-423-7111
